



学校だより

福島県立大笹生支援学校
NO.2 R3.7.20



1学期の活動報告

小学部、中学部、高等部の学習の様子をお伝えします。

小学部

高学年の児童が今年度、新しくチャレンジしている取組を紹介します。

一つ目は、体育科の時間に行った新体カテストです。50m 走やボール投げ、立ち幅跳び、持久走等を通して、友達と競い合い、高め合おうとしたり、同年代の平均値と比較したりしながら、自分の体力を知り、新しい目標をもって運動することにつながっています。



二つ目は東日本大震災・原子力災害伝承館への校外学習です。校内での事前学習を通して、防災や放射線に関することを身近な例から学びました。伝承館では、シアターや展示品の見学、案内の方の説明、質疑応答から、子どもたちなりの気づきや発見が得られ、素晴らしい学びの機会となりました。



中学部

中学部では、「総合的な学習の時間」の学習として、「地域について知ろう」をテーマに、平野中との交流及び共同学習（12月実施予定）と地域交流（5・6月実施）の学習を行っています。地域交流では、1年生は「学校周辺について調べよう」として、十六沼公園、塩竈神社、地域の果樹園、セブンイレブン等に行き、何があるのかを調べたり、施設の方に話を伺ったりしました。今まで何度も行っている場所でも、新しい発見がたくさんありました。調べたことは、模造紙等でまとめ、各学級の廊下に掲示しました。



高等部

高等部では、6月7日から18日の2週間にわたって、産業現場等における実習がありました。1年生は校内で、2・3年生は校外での実習を中心に行いました。自分の将来に向けて、様々な作業や仕事を体験し、あいさつの大切さや仕事の手順、働く時の態度等を学ぶことができました。また、今回の実習で、それぞれの課題を見つけることもできました。



職員研修の様子

本校では『「深い学び」の実現を目指す授業づくり～「深い学び」による資質・能力の育成に向けて～』という研究主題のもと校内研究に取り組んでいます。毎月一回の研修日では、外部講師を招聘しての講演会の実施や研究の視点に沿った日々の授業づくり、またグループ協議を行っています。1年間の校内研究の取組で、職員同士の学び合いを通して児童生徒の資質・能力を育てることができるような授業づくりにつながるよう研修を進めていきます。



(学校だよりは HP でもご覧いただけます。)